6月
2020年
みやま
第265号

病院理念
『患者さまの不安をとること』
当院の基本方針
「地域に根ざした安心できる医療」
「精神科医療の充実」
「老人医療」医療と福祉の結合

医療法人社団光生会　平川病院

本年の標語　『学びと感謝を常に忘れず医療に対し誠実な病院～それが平川病院～』

〔ホームページ〕http://www.hirakawa.or.jp/　〔e-mail〕hhsp1966@violin.ocn.ne.jp

オンライン面会を始めました

タブレットで東館ロビーと病棟をお繋ぎします

【対応時間】平日（月～金）13:00～16:00
【予約方法】平日9:00～16:00の間に
病院スタッフへ直接、もしくは
お電話でお申し込みください

月曜日に面会実施をご希望の場合は
前週の金曜日までにお申し込みください

❖機材数の都合により、ご希望に添えない場合があります
❖面会制限のある患者さまは、対象外となります

ロビー

病棟

新型コロナウイルス感染による面会制限についてのお願い

6月1日から、当院としては段階的に面会制限の一部解除する方向で動いております。しかしながら未だ市中感染が継続しており、今後も感染対策が必要で、下記の事項を徹底すると共に、面会は最小限にして頂くようご協力をお願い致します。入院患者さんの多くは高齢者で、感染した場合、重症化する恐れがあります。また、無症状の感染者も多いとされています。ご自身が感染している可能性があることを認識してご対応をお願い致します。

《面会時の徹底事項》
・必ず受付にて、面会票のご記入をお願い致します。
・体温（検温）、マスク着用を確認させて頂きます。
・体調の悪い方、37℃以上の発熱の場合は、面会できません。
・直接、面会はせずに、洗濯物、私物等の受け渡しのみの場合も同じ対応です。
・手指消毒の徹底をお願い致します。
・面会は、1家族1～2名程度、短時間（5分程度）でお願い致します。
・面会場所（室）は、各病棟で異なりますので病棟入口にてスタッフがご案内致します。
・面会室等の使用でお待ち頂くことがありますので、予めご了承ください。
・来院者の病棟内、病院施設内での飲食はご遠慮願います。
・送迎バスをご利用の際は、マスク着用の徹底をお願い致します。

今後もウイルスとの長い戦いになると考え、緊急事態宣言の有無に関わらず、感染の流行状況により再度面会制限をかけさせて頂く場合もありますので、大変恐縮ですがその際はご理解とご協力をお願い致します。また、面会制限等を変更する場合は、ホームページにて随時ご案内致しますので、ご確認をお願い致します。

院長　平川 淳一

【表紙】院長挨拶【Ｐ２】病棟たより（南２病棟）【Ｐ３】事務室から【Ｐ４】地域生活支援室より
【Ｐ５】2019(平成31/令和元)年度 退院時年齢階級別患者数【Ｐ６】入職一年目を振り返って

南２病棟（急性期病棟）で働いてみて

平川病院で働かせて頂くようになり、15年が経ちました。急性期病棟で働くのは今回で2回目となります。異動当初は久々の急性期病棟で働くことに、楽しみと不安の両方があり、緊張しながら出勤したのを覚えています。ただ以前に一緒に働いていたスタッフが温かく迎え入れてくれたこともあり、緊張しながらも現在まで働くことができています。

ここで急性期病棟が現在、取り組んでいることを少しご紹介しようと思います。

今年度から、クロザピン新規導入患者を年間3件受け入れることとなりました。既にご存じの方もいらっしゃるかもしれませんが、簡単ではありますが、クロザピンとは何なのかをご説明したいと思います。

クロザピンとは治療抵抗性（お薬をしっかり飲んでいるのに症状が改善しなかったり、薬の副作用が強く必要なお薬が飲めない）統合失調症患者様に対して使用するお薬になります。

服用することで6割の患者様の精神症状の改善が認められているようです。

それだけ効果があるお薬なので、様々な副作用があります。中でも無顆粒球症という身体の血液の中に白血球が減少またはなくなってしまうことです。

白血球が減少したりなくなったりすることで、何が起こるかというと風邪などの感染症になってしまった場合に、体がその感染したウイルスと戦うことができずに重症化してしまうのです。そうならないために熱を測ったり定期的に採血をしたりして、観察をしていくことが必要となってきます。当院の慢性期病棟でも導入を既に行っています。

南２病棟スタッフ（筆者：左から３人目）
2020年2月撮影

急性期病棟では初めての試みであり、スタッフ一人一人が勉強をし、挑んでいかなければいけないと感じました。いつでも新しいことを始める時は、慣れるまでは大変でスタッフも四苦八苦するのではないかと思いますが、渡部先生・渡邉師長のダブルワタナベ中心にスタッフ一丸となって取り組んで行こうと思います。最後にはなりますが、急性期スタッフ全員に感謝したいと思います。これからもご指導・ご鞭撻をよろしくお願い致します。

南2病棟　看護師　木村 祥吾

法人室の業務について

事務室から

法人室では職員の社会保険に関する手続きや毎月の出勤簿作成・給与の計算などを行っております。社会保険に関する手続きの中には住所変更の届けや扶養の異動届けがあります。変更が発生した際には速やかに報告するよう、医業健保組合や年金事務所から指示されておりますので、引っ越しをした職員や扶養されているご家族が就職をされるなどして扶養から外れる職員には、必ず「各種異動届」という届け出とともに必要書類（住民票や通勤費を申請するための届け出など）を添付して提出してもらうようお願いしています。

今現在、健康保険組合は新型コロナウイルスによる影響で各種届出に関する手続きに時間がかかっているようです。扶養するご家族が増える等、手続きを急がれる方は早めに申請するようにお願いいたします。

法人室ではみなさんから徴収される社会保険料についての手続きも行っています。

社会保険とは、病気やけが、出産、失業などに対して必要な保険給付を行う公的な保険をいい、主に健康保険、介護保険、厚生年金保険のことで、介護保険料は４０歳になった月から健康保険料と併せて徴収されます。社会保険料は毎年４月・５月・６月の給与支給額の平均額によって見直されます。このため、毎年７月にみなさんの給与についての届出を行っており、その年の９月から保険料が更新されます。

社会保険料は東京都医業健康保険組合が提示する標準報酬月額表をもとに４月から６月までの給与支給額の平均額で決定されますが、このときの支給額には通勤費が含まれます。

同じ月給であっても、通勤費の支給の有無やその額によって社会保険料に違いがあるのはこのためです。

また、法人室では院長先生のスケジュール管理も行っております。院長先生と会議や面談等時間を取ってもらう約束をしました、という職員には連絡をもらうようにし調整をおこなっております。

以上のように主に裏方の仕事をしております。職員の業務が円滑に行えるようこれからも頑張っていきたいと思います。

法人室　天野 麻裕子・田中 美貴

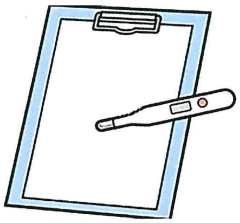
活動自粛をうけて ～美山ヒルズでの対応～

地域生活支援室より

この原稿を書くことになった５月中旬時点では、緊急事態宣言解除の話が出つつある状況ですが、今現在どうなっていることでしょうか。美山ヒルズでのこれまでの対応を少し報告できればと思います。

正直、コロナウィルスが報道されるようになった当初においては私もあまり事を深刻に捉えておらず、基本的な咳エチケットや手洗いについて利用者に案内をしている程度でした。３月に利用者とのいちご狩りを計画しており、それも『どうしようかな』と考える程度でした（結果中止としましたが）。４月に入ってプログラム（ミーティングや料理会など）も感染対策から美山ヒルズOBの参加や平川病院のスタッフのお手伝いをご遠慮いただきつつ、まだ利用者のみの参加で行うつもりでいました。ところが感染が徐々に拡大し、２０２０年４月７日に緊急事態宣言が出されました。また前後して八王子市で初の感染者が確認されたため、スタッフ間でも感染対策についての意識が急速に高まりました。プログラムを全面的に中止とし、対面しての面接などは支援として必要とされるものに限定、それ以外は内線や電話を使い、あくまで人と人との接触は最低限に、としました。

４月中旬に入ると地域の作業所も（休業要請の対象ではなかったものの）次第に活動を自粛するようになり、加えて市より利用者の体調管理を共同生活援助事業所（つまり美山ヒルズ）が把握するよう通知が来たため、美山ヒルズでは朝出勤した職員が利用者の検温、体調の確認を行うこととし、現在も継続しています。

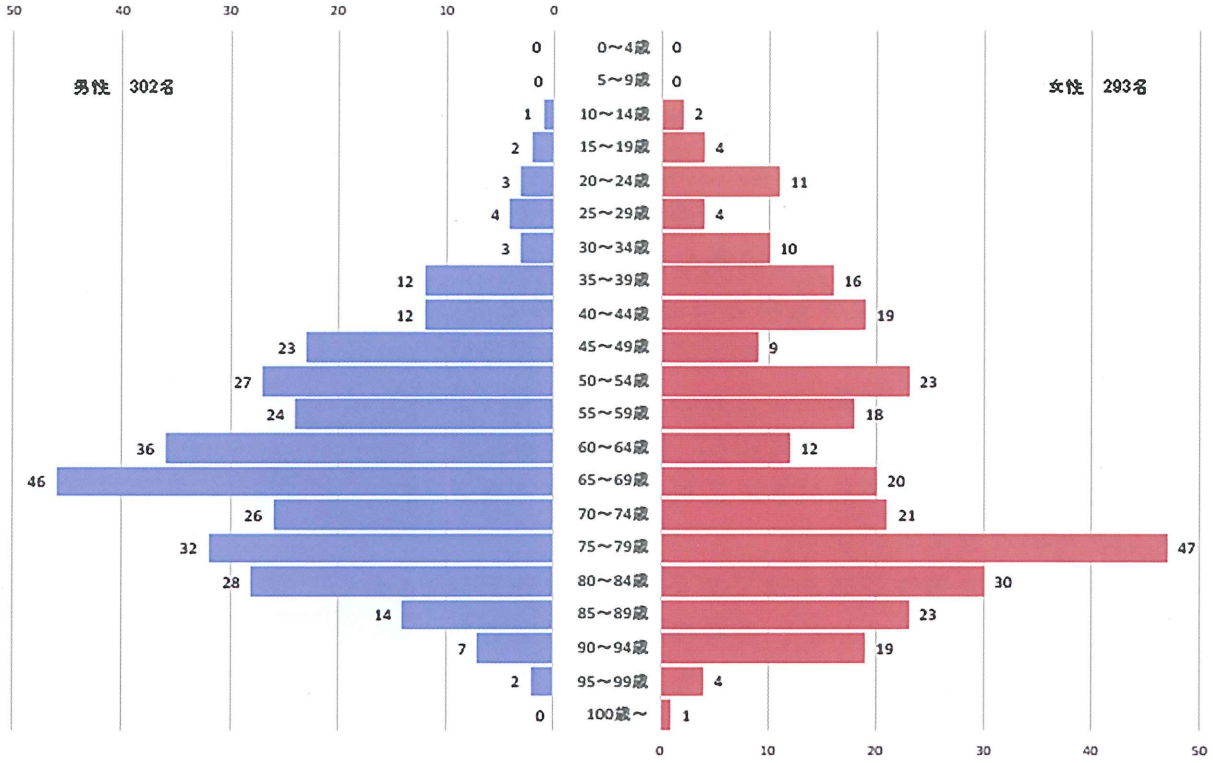


幸いなことに利用者で大きく体調を崩す方はいないものの、日中活動の場がなくなったことで生活サイクルに乱れが生じている方が若干いらっしゃったり、また高齢の方で体を動かす機会が減ることでの身体機能低下が懸念されたりしたため、電話でのモーニングコール、散歩や買物同行などの支援を個別に行いながら過ごしています。改めて日中活動の場が利用者の方々にとって大事な場であると認識しました。

美山ヒルズ利用者に限らず長期の制限、自粛は心理的にも精神的にも大きな負担になります。判断には慎重さが必要とは思いつつも、一日も早い終息を望みたいものです。

美山ヒルズ施設長　廣井 亮

2019(平成31/令和元)年度　退院時年齢階級別患者数



【　概要　】

2019年度全退院患者数　595人　男女別　5歳刻み

2019年度退院時平均年齢　全体　63.72歳　男性　63.38歳　女性　64.07歳

男性で一番多い年齢層では、65～69歳で、男性全退院患者数の　15.2%　でした。
また、女性では、75～79歳で、女性全退院患者数の　16.0%　となっております。

【　過去3年分の比較　】

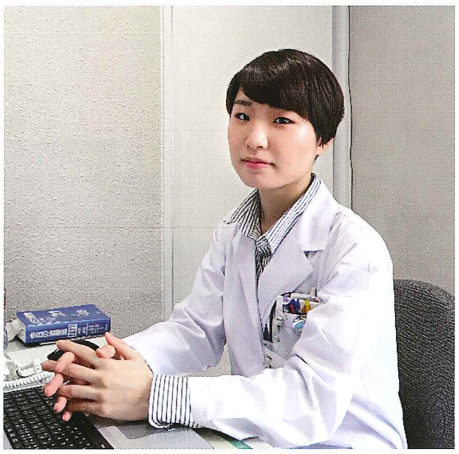
	平均年齢(歳)			年齢階層別退院患者数(人)				
	全体	男性	女性	20歳未満	20歳以上～40歳未満	40歳以上～65歳未満	65歳以上～75歳未満	75歳以上
2017年度	63.97	63.60	64.44	1	75	193	139	208
2018年度	64.02	62.96	65.53	2	60	206	116	195
2019年度	63.72	63.38	64.07	9	63	203	113	207

過去3年分の比較では、全体の平均年齢は、63～64歳とほぼ変わりはなく、男性では、63歳前後で、女性では、2018年度の　65.53歳がもっとも高齢でした。
また、2019年度の20歳未満の退院患者数　9人と若年層が多くなっております。

平川病院　医療の質向上促進委員会

入職一年目を振り返って（医療相談室）

入職一年が経ちました。関わってくださった職員の皆様、患者様、ご家族の皆様には大変お世話になりました。この一年間は平川病院の役割や病棟機能を知ることから始まり、入院中の患者様の相談対応、他機関からの入院相談などさまざまな業務に取り組みました。



平川病院の専門職として働く中で精神保健福祉士は病院の顔(窓口)のような役割をしていると感じました。なぜならば、患者様やご家族が入院を検討しているとき、最初に関わる専門職は精神保健福祉士であることが多いためです。平川病院の一職員として働いていく上で、丁寧な言葉遣い、相手に寄り添う気持ち、誠実な対応など社会人としての基礎基本を忘れずにこれからも業務を遂行していきたいと考えています。

また、4月からは男性療養病棟である東4病棟を担当させていただく事になりました。患者様の活動の場である病棟プログラム（カステラの会）にも参加し、患者様の好きなことや得意なこと、意外な一面を見ることが出来ています。週に一度の病棟ミーティングでは患者様の自身のことや病状を把握し、必要に応じて患者様やご家族と面談を行っています。職種が変わると患者様をみる視点も変わりさまざまな意見を頂けると同時に、各職種が患者様に対してどのような支援や治療を行っているのか確認もしています。患者様の対応などに困ったとき、科内の先輩に相談すると他の解決方法やアドバイスを提案して頂けるだけでなく、自分の考え方の癖や知識不足に気が付く機会になっています。

精神科に入院するという患者様、ご家族は治療のこと、入院費のこと、退院後の生活のことなどさまざまな不安を抱えていると思います。そのような方々の現状や困っていることを伺いニーズを把握し、共にゴールを目指していくことで「平川病院に相談してよかった。」と思って頂けるような支援・対応が出来るよう心がけていきたいです。

医療相談科　精神保健福祉士　石川 真有

編集後記

学校が再開された。市営のテニスコートや野球場が利用出来るようになった。先週は久々にテニスと野球を満喫した。高校野球では、選抜出場校に甲子園で1試合限定の交流試合が決定した。少しづつであるが明るい兆しが見えて来た。引き続きウイルスとの共存が求められている。新しい生活様式を意識し、医療従事者として何としても持ち込まないという意識を・・・。

医療法人社団光生会 平川病院
東京都八王子市美山町1076
電話 042−651−3131
FAX 042−651−3133
編集　平川病院　広報委員会
ご意見ご感想はこちらへお願いします
kouhou@hhsp1966.jp

HIRAKAWA HOSPITAL